

史料群名	茨城県関係文書		旧所蔵者	
探訪時住所	(茨城県)			
現在の住所	茨城県			
探訪年月	不明			
史料の年代	寛文9(1669)年～明治30(1897)年	史料の総点数	18点	
年代の内訳	近世 15点/近代 3点	筆写稿本	なし	
既刊行目録	「平成十八年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-福島県、茨城県、栃木県、千葉県関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」			

収蔵にいたる経緯

平成17年度の神奈川大学日本常民文化研究所による目録作成の過程で、所属不明であるが、茨城県で探訪されたと考えられる史料18点を「茨城県関係文書」として一括した。今回、ここに含まれる史料は次の5つに分類できるものである。

(1) 神立村史料 (2) 古渡村史料 (3) 玉里村史料 (4) 下谷貝村史料 (5) 間野村史料
したがって、本史料群は他の史料群と異なり、複数の探訪地の史料を一括したものである。

史料群の概要

- (1) 神立(かんだつ)村史料
「藤崎謙一家文書」に含まれていたもの4点、「中波村史料」に含まれていたもの7点よりなる。神立村は現在の土浦市にあった。
- (2) 古渡村史料
「舟串主一家文書」に含まれていたもの4点よりなる。古渡村は近世期の常陸国河内郡古渡村である。
- (3) 玉里村史料
「奥村啓次郎家文書」とされていたが、奥村家に関係する史料ではなく、茨城県関係文書に含めた。内容は玉里村にある「瀧平主殿顕彰碑」の拓本である。
- (4) 下谷貝(しもやがい)村史料
「中波村史料」に含まれていたもの1点。宛先は「下谷貝村戸長御中」とある。
- (5) 間野村史料
「舟串主一家文書」に含まれていたもの1点。常陸国信太郡間野村に関連した史料。近世期の間野村名主だった平野家に伝わる史料の可能性が高い。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。